



京都市図書館情報誌

本で広がる世界
本でふくらむ夢

きょうと

京のものたり

特集 京都市の図書館 未来へ続く物語(1986~)



その他のページ

- | | |
|----------------------|---|
| 図書館の本棚から 司書がすすめるこの1冊 | 5 |
| 電子書籍、この1点 | 5 |
| レファレンスこぼれ話 | 6 |

あなたの好奇心に応える

vol.61

令和7年10月発行

京都市の図書館 未来へ続く物語(1986~)

前号では京都市の図書館が始まった1950(昭和25)年から1985(昭和60)年までの歴史を振り返りました。

今号は1986(昭和61)年以降を各図書館のキャラクターたちが紹介します!

これからも市民の皆様と共に、京都市図書館の物語は続いていきます。

1987(昭和62)年
4月20日
洛西図書館 開館



絵本コーナーは、
今も昔も
「たけのこ島」と
呼ばれています



1992(平成4)年
4月7日
吉祥院図書館 開館

この年、貸出上限が
3冊から5冊に増え
ました！

1987(昭和62)年
8月28日
伏見中央図書館 開館



当時のシンボル標語は
「知るは楽し 本とのであります」



1995(平成7)年
4月18日
岩倉図書館 開館

曲線を描いた
広いガラス窓と
フローリングの
床が特徴です



1998(平成10)年
・図書館間運搬システム開始
・6月27日
**久世ふれあい
センター図書館 開館**

特別養護老人
ホームや児童館など
を含む複合施設の
4階になりました



2001(平成13)年
・京・ライブラリーネット
(全館オンライン化計画)完了
・7月18日
下京図書館 移転開館

2007(平成19)年
京・ライブラリーネット更新!
・自動音声応答サービスにより電話から
の利用状況、確認、貸出延長が可能に
・携帯サイトの開設
・インターネットからの貸出延長開始
・ホームページリニューアル（音声読み
上げ対応、英語・中国語・ハングル
の案内掲載）



2008(平成20)年
・6月30日
右京中央図書館 開館
(3月31日 右京図書館 閉館)

京都のことなら
おまかせ！
京都に関する資料を
集めた
「京都大百科事典ゾーン」
があり、オンライン
データベースなど、
調べものをする環境が
整っているよ



2015(平成27)年
・「デイジー図書」貸出開始
・ブックリサイクル
(不用図書の無償譲渡)開始
令和6年度末までの
リサイクルで、市民の方に
393,952冊
が譲渡されたよ！



2017(平成29)年
・京都市立芸術大学との「相互
貸借サービス」開始
・京都府立図書館と「返却資料
お預かりサービス」開始



2013(平成25)年
・協力貸出制度開始
・Eメールレファレンス開始



2020(令和2)年
新型コロナウイルス
感染症のため、全館
臨時休館(4/18-5/22)



2021(令和3)年
・醍醐中央図書館
公式 YouTube 開始
・西京図書館
公式 Twitter (現 X) 開始
・「子どもの本
コンシェルジュ」誕生！
宇治市と大津市の
方とも図書カードが
つくれます



2016(平成28)年
・隣接自治体との図書館
相互利用開始(宇治市・大津市)
・「サピエ(視覚障害者情報
総合ネットワーク)」加入
宇治市と大津市の
方とも図書カードが
つくれます



2024(令和6)年
チャイルドケアプラン
による環境整備
例) 醍醐図書館 幼児コーナー



2025(令和7)年
・向島図書館幼児コーナー
等リニューアル(巖本商事
株式会社からの寄付)
・久世ふれあいセンター
図書館公式 X 開始
子ども本コンシェルジュへの
張り替えや親子
で読書を楽しめる
椅子の設置などをしたよ



2022(令和4)年
オンライン対面朗読開始
醍醐図書館 だいとくん



京圖ものがたり vol.61
表紙は、全館オンラインでつながる前の各図書館カードです(現在使用カード含)。
当時は複数館のカードを併用することができました。

図書館の本棚から

司書がすすめる この1冊



『猫を処方いたします。』

1

冊



石田 祥／著
PHP研究所(PHP学芸文庫)

「二週間猫をお出ししますんで、服用してください」一悩める人々が訪れる病院で処方されるのは本物の猫!半信半疑で猫を「服薬」した人々の悩みやいかに?京都を舞台にした心温まる不思議な猫小説。

京都市中京区麿屋町通上ル六角通西入ル富小路通下ル蛸薬師通東入ル。京都人でも首を傾げる怪しげな住所、細い路地に入った雑居ビルの5階にある「中京こころのびょういん」。やたらノリの軽い京都弁の医者・ニケ先生と、無愛想な若い看護師・千歳さんがいるこの小さな病院には、悩める人々が次々に訪れます。しかし、この病院で処方されるのは、薬ではなく本物の猫。「昔から猫は百薬の長って言いますからね」「大丈夫ですよ。だいたいの悩みは猫で治りますから」と豪語するニケ先生に「ホンマかいな!?'と思わずツッコミながらも、個性的なキャラクターに引っ張られるように一気読みてしまいました。

病院へやって来る人々は、ブラック企業で働く青年、女性上司とソリの合わない中年男性、娘との接し方に悩む母親など様々。猫を処方されて戸惑う患者たちをよそに、当の猫たちはどこ吹く風とばかり自由気ままにふるまうのですが、本人のみならず周りにまでじわじわと「猫の効能」は広がっていき、最後にはなぜか上手くいってしまう…猫、おそるべし!

じんわりと心に染み入るストーリーながら、謎めいた部分が感じられるのもこの作品の魅力だと思います。いつもたどり着けるとは限らない病院の秘密とは?悩める人々に猫を処方するニケ先生と千歳さんの目的は?二人が待ち続ける「予約の患者」とは?これらの謎が良いアクセントになって、猫好きは勿論、猫好きでなくても楽しめます。

(I)

電子書籍、この1点



京都市図書館
電子書籍サービス
ウェブサイト



【借りる】も【返す】もクリック(タップ)するだけ!

いつでもどこでも読書が楽しめる便利な電子書籍サービスは、もうご利用いただけましたか?

インターネット環境があれば、あなたのパソコンやスマートフォン、タブレットがたちまち図書館に早変わり!

今回も、司書が電子書籍の機能を生かした1点をご紹介します。

音声読み上げ機能のコンテンツは電子書籍ウェブサイトのバナーからチェックして下さいね。



『お力ネの教室 -僕らがおかしなクラブで学んだ秘密-』

高井 浩章／著 (インプレス)

中学校の「そろばんクラブ」を舞台にした、お金にまつわる様々なことが学べる経済小説です。私はこの本で特に、株式投資や投資信託に興味が湧きました。投資は利益が重視されがちですが、社会を豊かにすることにも繋がっているなんて面白い!その他にも経済や世の中の仕組みが、すとんと腑に落ちる本です。音声読み上げ機能もあるので、電車やバスに乗りながら聞くのもおすすめです。



(O)

電子書籍サービスの使い方がわからない…そんなときにはこちら!

醍醐中央図書館YouTube「京都市図書館電子書籍サービスの使い方」では、基本的な操作方法

「ログイン」「探す」「借りる」について、「京都市図書館電子書籍サービスの使い方 便利な機能編」

では、「文字サイズの変更」「表示色の反転」「音声読み上げ」についてご紹介しています。

ぜひご覧ください!

よもうちゃんねる

検索

京都市図書館
電子書籍サービスの
使い方▶



京都市図書館
電子書籍サービスの
使い方
便利な機能編▶



レファレンスこぼれ話

～あなたの知りたいにおこたえします！～



レファレンスとは、みなさんからの質問・相談を受けて、調べものに必要な資料を探すお手伝いをすることです。「レファレンスこぼれ話」はレファレンスについてのエピソードを紹介するコーナーです。

花を撮りに、どこへ行こう？

館内で本を整理しているときに、「京都市内でお花の名所が載っている本はあるかな…」と、利用者さんに声をかけられました。お話を伺うと、写真を撮影することが好きで、秋か冬に咲く花を撮りたいため、名所を調べに来館されたようです。

レファレンスデスクへご案内し、お伺いした“名所”と“花”をキーワードに、郷土の紀行や案内記などの本を中心にお探ししました。『京都花名所』には、社寺や庭園などの名所に咲く花が季節ごとに載っていました。秋は“萩の寺”と呼ばれる常林寺や大覺寺の嵯峨菊、冬は妙蓮寺の椿や梅宮大社の梅などの花が掲載されています。『京都花の名所案内』は、持ち運びに便利な小さい本で、名所にまつわるプチ情報もありました。

早速、ご覧いただくと、「いつも川沿いや公園のお花を撮っているんやけど、お寺や神社もいいなあ」と興味を持たれました。

「右京区にも社寺があるから、本が見つかるかもしれない」と考え、右京区の本を集めた「右京探訪」コーナーで本を探すことにしました。『龍安寺の四季』と『常寂光寺の四季』が見つかりました。パラパラとめくると、花を中心とした庭や御堂の写真集でした。表紙には「京・古社寺巡礼」10・11とあったので、「他の巻数もあるかも…、撮影がお好き…」と頭に思い浮かべ

ながら、写真集の分類記号748を元に、郷土資料の棚へ向かいました。四季の花や風景を撮影した写真集のなかから見つけた『京の花 秋冬』には、社寺の写真だけでなく、川辺や山に咲く花の写真も載っていました。「撮影する場所の候補が増えたらいいな」と願いながら、数冊の本と一緒にご紹介すると、「写真を撮るときの参考になるわあ」と、わくわくした表情でご覧になられ、この日は終わりました。

後日、「本を参考にお花の写真を撮ってきたよ」と、利用者さんのキラキラな笑顔ときれいな花の写真に、私まで笑顔をいただいた

レファレンスでした。



『京都花名所』

横山健蔵／写真 青幻舎 2008

【参考文献】

『京都花の名所案内』(コトコト 2010)

『龍安寺の四季』(水野 克比古／著 東方出版 2006)

『常寂光寺の四季』(水野 克比古／著 東方出版 2006)

『京の花 秋冬』(水野 克比古／著 光村推古書院 1996)

京図ものがたり vol.61

発行 令和7年10月

編集・発行 (公財)京都市生涯学習振興財団

財団本部総務課企画係(京都市図書館担当)

〒604-8401 京都市中京区聚楽廻松下町9-2

TEL 075-802-3145

● 京都市図書館ホームページ
<https://www2.kyotocitylib.jp/>



● 携帯サイト
<http://www.kyotocitylib.jp/i/>



● 公式X
@KyotoCityLib



六〇号に続き、一九八六年からの京都市図書館の変遷をたどりました。閲覧のみだった利用が貸出可能となり、貸出冊数も三冊から五冊、十冊と増えました。また、令和七年十月からは、新しい図書館の可能性を模索するため、「POP-UP LIBRARY KYOTO & BOOKS」を実施します。

(H)

「図書館は成長する有機体である」とインドの図書館学者ランガナタンは提唱しています。今後も皆さんと共に京都市図書館は成長して参ります。

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で
「京都はぐくみ憲章」を実践しましょう！



地球環境を守るため、できる限り市バス・地下鉄等をご利用ください。

編
◆
集
◆
後
◆
記